



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月23日

上場会社名 **リコーリース株式会社** 上場取引所 東
 コード番号 8566 URL <http://www.r-lease.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 松石 秀隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 長田 泰賢 TEL 03-6204-0608
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	68,361	6.1	4,067	4.9	4,068	4.3	2,708	9.6
27年3月期第1四半期	64,431	6.4	3,877	△3.2	3,900	△2.7	2,470	0.9

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 2,699百万円 (9.0%) 27年3月期第1四半期 2,476百万円 (△1.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	86.78	—
27年3月期第1四半期	79.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	851,420	137,934	16.1	4,401.86
27年3月期	828,618	136,117	16.4	4,344.43

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 137,412百万円 27年3月期 135,619百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	22.50	—	27.50	50.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	27.50	—	27.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	266,000	2.8	17,000	3.0	16,800	2.1	10,800	6.5	345.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	31,243,223株	27年3月期	31,243,223株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	26,360株	27年3月期	26,360株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	31,216,863株	27年3月期1Q	31,216,915株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の監査手続に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(第1四半期連結累計期間の連結経営成績)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	増減	
			金額	伸率(%)
売上高(百万円)	64,431	68,361	3,930	6.1
営業利益(百万円)	3,877	4,067	190	4.9
経常利益(百万円)	3,900	4,068	167	4.3
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	2,470	2,708	238	9.6
1株当たり四半期純利益 (取扱高)	79円14銭	86円78銭	7円64銭	—
リース・割賦事業(百万円)	77,037	85,702	8,664	11.2
金融サービス事業(百万円)	5,523	6,328	804	14.6
取扱高合計(百万円)	82,560	92,030	9,469	11.5

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による財政・金融政策を背景に企業業績や雇用情勢は回復基調にあるものの、円安による輸入価格の上昇やギリシャ債務問題、新興国の景気減速など世界経済の不安もあり、景気回復は緩やかなものとなりました。

また、リース業界においては、前年同期に消費増税後の反動減となったことから、平成27年5月累計のリース取扱高は、前年同期比21.7%増加の7,516億円と大幅増加となりました(公益社団法人リース事業協会統計)。

このような経済環境の中、当社グループにおいては、前期よりスタートさせた3ヵ年の中期経営計画(中計)の2年目として、引き続きベンダー営業を軸として収益性を重視した優良資産の増大と新しい成長領域の構築を図りました。「医療機器」が前年の消費増税後の反動減から回復するとともに、新分野として開拓中の環境分野が伸長し、総取扱高は前年同期比11.5%増加の920億円となり、営業資産残高も前期末に比べ138億円増加し、7,246億円となりました。

その結果、売上高は前年同期比6.1%増加し683億円となりました。リース・割賦売上高だけでなく金融サービス事業の売上高も順調に伸長し、営業利益は前年同期比4.9%増加の40億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比9.6%増加し27億円と第1四半期において過去最高となりました。

	売上高(百万円)			セグメント利益(百万円)			営業資産(百万円)		
	前四半期累計	当四半期累計	増減	前四半期累計	当四半期累計	増減	前期末	当四半期末	増減
リース・割賦	62,543	66,224	3,680	3,461	3,527	65	596,486	605,523	9,037
金融サービス	1,401	1,575	173	629	748	118	105,291	107,495	2,204
報告セグメント計	63,944	67,799	3,854	4,091	4,275	184	701,777	713,018	11,241
その他	486	561	75	56	62	5	8,998	11,593	2,595
合計	64,431	68,361	3,930	4,147	4,338	190	710,775	724,612	13,836

【リース・割賦】

リース・割賦事業は、医療機器が前年の消費増税後の落ち込みから回復するとともに太陽光発電設備やLEDなど環境分野の伸長で、取扱高は857億円と前年同期比11.2%増加しました。その結果、営業資産残高は前期末に比べ90億円増加し、6,055億円となりました。

リース・割賦事業の売上高は前年同期比5.9%増加し662億円となり、セグメント利益は前年同期比1.9%増加し35億円となりました。

【金融サービス】

金融サービス事業は、住宅ローンや法人向け融資が伸長し、取扱高が前年同期比14.6%増加の63億円となりました。営業資産残高は、前期末から22億円増加し1,074億円となりました。また、受取手数料についても、集金代行サービスや介護報酬ファクタリングサービスが順調に推移しました。売上高は前年同期比12.4%増加し15億円となり、セグメント利益は前年同期比18.9%増加し7億円となりました。

【その他】

その他の事業は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、及びリコーグループ会社への融資・ファクタリング取引等が含まれています。売上高は前年同期比15.5%増加の5億円、セグメント利益は前年同期比10.5%増加の62百万円となりました。
また、その他の事業の営業資産残高は、前期末に比べ25億円増加し115億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

	前連結会計年度末 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (平成27年6月30日)	増減	
			金額	伸率(%)
総資産(百万円)	828,618	851,420	22,802	2.8
*営業資産(百万円)	710,775	724,612	13,836	1.9
営業資産以外(百万円)	117,842	126,808	8,965	7.6
純資産(百万円)	136,117	137,934	1,817	1.3
自己資本比率(%)	16.4	16.1	△0.3ポイント	

*営業資産には報告セグメントの営業資産に加え、その他事業の営業資産を含めております。

【総資産】

総資産は取扱高の増加により営業資産が138億円増加したことで現預金が49億円増えたことなどで、前期末に比べ228億円増加し8,514億円となりました。

【純資産】

純資産は親会社株主に帰属する四半期純利益による27億円の増加と、剰余金の配当8億円による減少等で、前期末に比べ18億円増加し、1,379億円となりました。自己資本比率は前期末の16.4%から0.3ポイントマイナスの16.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期連結累計期間の連結業績は順調に推移しており、平成27年4月28日に公表した平成28年3月期連結業績予想は修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	617	5,568
受取手形及び売掛金	13	12
割賦債権	78,607	80,407
未収賃貸債権	38,078	38,239
リース債権及びリース投資資産	508,074	514,555
営業貸付金	114,289	119,089
その他の営業貸付債権	43,447	46,123
その他の営業資産	5,032	5,033
賃貸料等未収入金	6,685	6,754
その他の流動資産	19,438	20,167
貸倒引当金	△8,902	△8,765
流動資産合計	805,381	827,187
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産	15,750	16,937
社用資産	416	388
有形固定資産合計	16,166	17,326
無形固定資産		
賃貸資産	124	109
その他の無形固定資産	1,788	1,710
無形固定資産合計	1,912	1,820
投資その他の資産		
投資有価証券	2,364	2,337
破産更生債権等	1,558	1,519
その他	1,795	1,764
貸倒引当金	△560	△535
投資その他の資産合計	5,157	5,086
固定資産合計	23,236	24,233
資産合計	828,618	851,420

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,476	14,795
短期借入金	125,465	126,117
1年内償還予定の社債	20,000	—
1年内返済予定の長期借入金	44,331	61,827
コマーシャル・ペーパー	18,000	67,000
未払法人税等	3,197	1,387
割賦未実現利益	6,069	6,488
賞与引当金	724	456
役員賞与引当金	23	—
その他の流動負債	40,726	44,654
流動負債合計	283,013	322,726
固定負債		
社債	80,000	80,000
長期借入金	325,931	307,426
退職給付に係る負債	1,008	1,010
その他の固定負債	2,546	2,322
固定負債合計	409,487	390,758
負債合計	692,501	713,485
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,896	7,896
資本剰余金	10,160	10,160
利益剰余金	117,468	119,295
自己株式	△47	△47
株主資本合計	135,478	137,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	533	493
退職給付に係る調整累計額	△392	△386
その他の包括利益累計額合計	141	106
非支配株主持分	497	522
純資産合計	136,117	137,934
負債純資産合計	828,618	851,420

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	64,431	68,361
売上原価	57,145	60,883
売上総利益	7,285	7,477
販売費及び一般管理費	3,408	3,410
営業利益	3,877	4,067
営業外収益		
受取配当金	2	2
その他の営業外収益	25	4
営業外収益合計	27	6
営業外費用		
支払利息	3	3
その他の営業外費用	0	2
営業外費用合計	4	6
経常利益	3,900	4,068
税金等調整前四半期純利益	3,900	4,068
法人税、住民税及び事業税	1,446	810
法人税等調整額	△30	524
法人税等合計	1,415	1,335
四半期純利益	2,484	2,732
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	24
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,470	2,708

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	2,484	2,732
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39	△38
退職給付に係る調整額	△47	5
その他の包括利益合計	△8	△33
四半期包括利益	2,476	2,699
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,462	2,674
非支配株主に係る四半期包括利益	14	25

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	リース・割賦	金融サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	62,543	1,401	63,944	486	64,431
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	62,543	1,401	63,944	486	64,431
セグメント利益	3,461	629	4,091	56	4,147

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、リコーグループ会社への融資、リコーグループのファクタリング等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,091
「その他」の区分の利益	56
全社費用(注)	△270
四半期連結損益計算書の営業利益	3,877

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	リース・割賦	金融サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	66,224	1,575	67,799	561	68,361
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	66,224	1,575	67,799	561	68,361
セグメント利益	3,527	748	4,275	62	4,338

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、リコーグループ会社への融資、リコーグループのファクタリング等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,275
「その他」の区分の利益	62
全社費用(注)	△270
四半期連結損益計算書の営業利益	4,067

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。